

剣道称号「錬士」審査会要項（受審者用）

全日本剣道連盟

1. 申込対象者

- (1) 剣道六段受有者で、受有後1年以上を経過（平成28年5月31日以前に取得）した者。
- (2) 剣道五段受有者で、受有後10年以上を経過（平成19年5月31日以前に取得）し、かつ、年齢60歳以上の者（称号・段級位審査規則第11条2項による特例）。

2. 申込方法

- (1) 受審希望者は、所定の錬士受審申請書に小論文（いずれも手書きによる自筆、パソコン不可）を添え、都道府県剣連に提出する。
- (2) 年齢基準は審査当日（5月6日）とする。

3. 小論文の内容

- (1) 課題 平成19年3月14日制定の「剣道指導の心構え」の要点を記し、それをふまえたうえであなたの剣道修業について述べなさい。
- (2) 字数 400字以上800字以内。
- (3) 用紙 400字詰め原稿用紙（市販のB4縦書き）。用紙1～4行目に表題と登録都道府県・氏名を記し、5行目2段目より書くこと。必ずボールペンまたは万年筆を使用すること。2枚の原稿用紙は右上ホッチキスで止めること。（凡例参照）
- (4) 提出 封筒長3（長さが23.5cm・幅が12cm）の表に「剣道錬士受審」、裏に登録都道府県と氏名を表記のうえ封印すること。

4. 申込締切 各都道府県剣連が定めた期日

5. 都道府県剣連の推薦

都道府県剣連会長は、申込者が規則第10条第1項の付与基準に該当し、かつ、実施要領の「錬士を受審しようとする者の備えるべき要件」(①～③)を満たしていると認めた場合、全剣連会長に候補者として推薦する。

6. 審査方法

(1) 小論文の審査

課題に対して適切な内容でまとめられているか、剣道に対する受け止め方と文章の表現能力等について審査を行う。

(2) 審査会による審査

小論文を採点のうえ審査会に付議して合否を決定する。

7. 審査会期日 平成29年5月6日（土）

8. 審査料 各都道府県剣連が定めた審査料

杖道称号「錬士」審査会要項（受審者用）

全日本剣道連盟

1. 申込対象者

- (1) 杖道六段受有者で、受有後1年以上を経過（平成28年5月31日以前に取得）した者。
- (2) 杖道五段受有者で、受有後10年以上を経過（平成19年5月31日以前に取得）し、かつ、年齢60歳以上の者（称号・段級位審査規則第11条2項による特例）。

2. 申込方法

- (1) 受審希望者は、所定の錬士受審申請書に小論文（いずれも手書きによる自筆、パソコン不可）を添え、都道府県剣連に提出する。
- (2) 年齢基準は審査当日（5月3日）とする。

3. 小論文の内容

- (1) 課題 平成19年3月14日制定の「剣道指導の心構え」の要点を記し、それをふまえたうえでのあなたの杖道修業について述べなさい。
- (2) 字数 400字以上800字以内。
- (3) 用紙 400字詰め原稿用紙（市販のB4縦書き）。用紙1～4行目に表題と登録都道府県・氏名を記し、5行目2段目より書くこと。必ずボールペンまたは万年筆を使用すること。2枚の原稿用紙は右上ホッチキスで止めること。（凡例参照）
- (4) 提出 封筒長3（長さが23.5cm・幅が12cm）の表に「杖道錬士受審」、裏に登録都道府県と氏名を表記のうえ封印すること。

4. 申込締切 各都道府県剣連が定めた期日

5. 都道府県剣連の推薦

都道府県剣連会長は、申込者が規則第10条第1項の付与基準に該当し、かつ、実施要領の「錬士を受審しようとする者の備えるべき要件」(①～③)を満たしていると認めた場合、全剣連会長に候補者として推薦する。

6. 審査方法

(1) 小論文の審査

課題に対して適切な内容でまとめられているか、杖道に対する受け止め方と文章の表現能力等について審査を行う。

(2) 審査会による審査

小論文を採点のうえ審査会に付議して合否を決定する。

7. 審査会期日 平成29年5月3日（祝）

8. 審査料 各都道府県剣連が定めた審査料

青森県剣連第11号
平成29年1月20日

各支部長、関係者 各位

青森県剣道連盟
会長 山野辺 辰美
(公印略)

称号「教士」および「錬士」の申し込みについて

標記について、剣道 居合道、杖道の受審申込書、受審申請書と審査会要項（受審査用）を送付します。該当する希望者は、下記の期限に遅れないように手続きをお願いします。

記

1 提出期限

- (1) 教士 平成29年2月24日（金曜日）
- (2) 錬士 平成29年2月24日（金曜日）

2 提出先

〒030-0862 青森市古川3丁目17の4

青森県剣道連盟事務局長 藤田幹彦

3 申込金額

- (1) 教士 15,000円
- (2) 錬士 13,000円

4 申込対象者

- (1) 「教士」
別添のとおり
- (2) 「錬士」
別添のとおり

5 申込方法等

別添のとおり

6 振込先

青森銀行県庁支店 普通預金

口座番号 3023058

青森県剣道連盟 事務局長 藤田幹彦

問合せ先：事務局長 藤田幹彦

F専用 017-776-5223

☎専用 017-7235-5622

080-1831-7200

青森県剣道連盟会長様

下記の通り相違ないので受審を推薦します。

支部長 印

※ 該当受審項目に○印

剣道・居合・杖道段位・称号審査受審申込書(中央・地方審査用)

全剣連番号	※ 必ず記載すること				生年月日	(審査日当日) 年齢	性別
氏名					昭・平	歳	男・女
(旧姓)	()				年 月 日生		
現在登録支部名 証書送付先	剣道公認審判資格 講習会受講年月				平成26年 月	青森・弘前・七戸・他(
					平成27年 月	青森・弘前・七戸・他(
					平成28年 月	青森・弘前・七戸・他(
受審段位・称号		現在段位・称号取得年月日			現在段位合格時の登録県剣連		
剣道 居合・杖道	段	段	年 月 日	※青森県以外で取得した場合記入。			
教士 錬士	該当項目に○印	教士 錬士	年 月 日				
受審場所					八段受審希望日 該当しない時は斜線		
現住所	〒				電話		
					FAX	可 ・ 不可	
職業	警察官・自衛官・教員・刑務官・ 会社員・公務員・自営業・団体職員・ 農林水産業・その他・無職・主婦				勤務先		
					電話		
受審料	六段	七段	八段	錬士	教士	申込みと同時に納入する。(現金・振込)	
	12,000円	13,000円	14,000円	13,000円	15,000円		
備考	<p>1 楷書で記入し、選択する項目については○印をすること。</p> <p>2 氏名のフリガナはカタカナで記入すること。</p> <p>3 年齢は審査日の当日を基準とすること。</p> <p>4 各支部においてはこの用紙をコピーして条件を満たしている受審者に配付願います。</p>						

申請番号

全剣連称号・段位様式第 5 号

平成 年 月 日

*都道府県剣道連盟で記入する。

*申請番号は若年順に記入する。

- 1. 剣道
- 2. 居合道
- 3. 杖道

錬士 受審申請書 (本人用)

*該当するものに○印をする。

(申請都道府県剣道連盟)

青森県 剣道連盟

今般、全日本剣道連盟称号・段級位審査規則[第11条第1項]に基づき、
道 錬士を受審いたしたく下記申請いたします。

記

	フリガナ			フリガナ
1 受審者氏名		印	(旧姓)	
2 生年月日	年 月 日 生	年齢 満	歳	
3 性別	男 ・ 女			
4 取得称号・段位	段 位	段		
取得年月	年 月			
登録県名	登録県名			
5 全剣連番号				
6 住所	〒			
7 電話番号		携帯番号		
8 職業				
9 全剣連社会体育 中級認定年月	平成 年 月 認定			

*認定者のみ記入。

申請番号

全剣連称号・段位様式第 4 号

平成 年 月 日

*都道府県剣道連盟で記入する。

*申請番号は若年順に記入する。

- 1. 剣道
- 2. 居合道
- 3. 杖道

教士 受審申請書 (本人用)

※ 試験会場

*該当するものに○印をする。

※社会体育上級認定者(追認者除く)は
上記試験会場の記入は不要。

(申請都道府県剣道連盟)

青森県 剣道連盟

今般、全日本剣道連盟称号・段級位審査規則[第11条第1項]に基づき、
道 教士を受審いたしたく下記申請いたします。

記

フリガナ

フリガナ

1 受審者氏名

印
(旧姓)

(旧姓)

2 生年月日

年	月	日	生	年齢 満	歳
---	---	---	---	------	---

3 性別

男 ・ 女

4 取得称号・段位

称号	錬士	段位	段
取得年月		年月	
登録県名		登録県名	

取得年月

登録県名

顔写真を貼って
から提出し
てください
(3 cm × 4 cm)

5 全剣連番号

6 住所

7 電話番号

	携帯番号	
--	------	--

8 職業

現職		前職	
----	--	----	--

※出来るだけ具体的にお書きください。(無職の方は前職を記入)

9 全剣連社会体育
上級認定年月

平成	年	月	認定
----	---	---	----

※上級認定者のみ記入

[剣 歴] ※居合道は居合道歴、杖道は杖道歴を記入する。